

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【公開番号】特開 2018-27371 (P2018-27371A)

【公開日】平成 30 年 2 月 22 日 (2018.2.22)

【年通号数】公開・登録公報 2018-007

【出願番号】特願 2017-224093 (P2017-224093)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 21 日 (2019.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、  
遊技球が入球可能な入球可能状態と、遊技球が入球不能な入球不能状態と、に変化可能な大入賞口と、

前記大入賞口に入球した遊技球を検知する検知手段と、

前記検知手段を有効期間又は無効期間に制御する状態制御手段と、

前記有効期間においては前記検知手段が遊技球を検知すると所定の特典を付与し、前記無効期間においては前記検知手段が遊技球を検知しても前記特典を付与しない特典付与手段と、

前記識別情報の変動表示の結果が特定結果となると前記大入賞口を入球可能状態とする特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、を備えた遊技機であって、

前記大入賞口を入球可能状態とすることに基づいて前記検知手段を前記有効期間に制御すると共に、前記大入賞口を入球不能状態とした後も前記有効期間を継続するエクストラ期間を設定し、

前記エクストラ期間における判定処理として、遊技球を検知したかどうかを判定する検知判定処理と、遊技球を検知したと判定した場合に前記所定の特典を付与する特典付与処理と、予め定められた個数の遊技球を検知したかどうかを判定する個数判定処理と、予め定められた時間が経過したかどうかを判定する時間判定処理と、を有し、

前記エクストラ期間において、前記特定個数の遊技球を検知すること、又は、前記特定時間が経過すること、の少なくとも一方が成立した場合に、前記エクストラ期間を終了し、前記検知手段を前記無効期間に制御する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記検知判定処理及び前記個数判定処理は、前記時間判定処理よりも先に実行される判定処理であることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0007】

上述の課題を解決するための第1発明の遊技機は、  
所定条件の成立に基づいて識別情報を変動表示する識別情報表示手段と、  
遊技球が入球可能な入球可能状態と、遊技球が入球不可能な入球不能状態と、に変化可能な大入賞口と、  
前記大入賞口に入球した遊技球を検知する検知手段と、  
前記検知手段を有効期間又は無効期間に制御する状態制御手段と、  
前記有効期間においては前記検知手段が遊技球を検知すると所定の特典を付与し、前記無効期間においては前記検知手段が遊技球を検知しても前記特典を付与しない特典付与手段と、  
前記識別情報の変動表示の結果が特定結果となると前記大入賞口を入球可能状態とする特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、を備えた遊技機であって、  
前記大入賞口を入球可能状態とすることに基づいて前記検知手段を前記有効期間に制御すると共に、前記大入賞口を入球不能状態とした後も前記有効期間を継続するエクストラ期間を設定し、  
前記エクストラ期間における判定処理として、遊技球を検知したかどうかを判定する検知判定処理と、遊技球を検知したと判定した場合に前記所定の特典を付与する特典付与処理と、予め定められた個数の遊技球を検知したかどうかを判定する個数判定処理と、予め定められた時間が経過したかどうかを判定する時間判定処理と、を有し、  
前記エクストラ期間において、前記特定個数の遊技球を検知すること、又は、前記特定時間が経過すること、の少なくとも一方が成立した場合に、前記エクストラ期間を終了し、前記検知手段を前記無効期間に制御する  
ことを特徴とするものである。

## 【手続補正3】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0008

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0008】

また、第2発明の遊技機は、第1発明の遊技機において、  
前記検知判定処理及び前記個数判定処理は、前記時間判定処理よりも先に実行される判定処理であることを特徴とするものである。

## 【手続補正4】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0009

## 【補正方法】削除

## 【補正の内容】